

令和2年度「新しい東北」官民連携推進協議会 宮城県 実践の場

まちづくり分科会 「持続可能な防災まちづくり」 総括

2020/11/18

東北大学災害科学国際研究所

佐藤 翔輔

被災した地域でのまちづくり (持続可能な) (防災面) を考える

- **今日の視点**
- レベル1の津波は防ぎきれる
 - 数十年～百数十年○, 最大クラス(311)×
 - 防潮堤／高台・内陸移転／かさ上げ
 - 一定の安全・安心がある
- そういった場所に, 旧新住民が暮らす.
- そこでやってきたまちづくり(新しい東北)から学ぶ
- 起きてほしくない想定南海トラフ地震被災地などにおける今後の(津波)被災地でのまちづくりのために, **実践から得た知恵**(記録・コツ)を残す

今日の参加者

気仙沼市鹿折

石巻市
のぞみ野

名取市
関上



今日の参加者

- **気仙沼市鹿折**地区(鹿折まちづくり協議会／鹿折地区自治連絡協議会／気仙沼市)
 - 登壇者:熊谷英明さん, 小山睦史さん
- **石巻市のぞみ野**地区(石巻じちれん／新蛇田第一集会所運営委員会／石巻市／石巻市社会福祉協議会)
 - 登壇者:相原駿さん, 田上琢磨さん
- **名取市閑上**地区(閑上中央町内会／尚絅学院大学／名取市サポートセンター／名取市)
 - 登壇者:長沼俊幸さん, 佐藤浩さん
- 当事者組織の様々なパターン(まち協・集会所運営委員・町内会)
- 巻き込む・巻き込まれる組織・団体もいろいろ

今日の流れ

- **だれが, どんな人が参加してるのか?**
 - 組織紹介, 自己紹介, 取り組み紹介
- **まちづくりを通して何が生まれたか? なぜそれができたか?**
 - この約10年(それよりも短い期間)のなかで
- **持続可能にしていくために**
 - 工夫・課題・解決の目安
 - 一定の安全の中での防災活動



実践から得た 持続可能な防災まちづくりの知恵



まちづくりを通して何が生まれたか？ なぜそれができたか？

- 気仙沼市鹿折
 - 自治会長だけががんばらない体制(まち協)
 - オープンな話し合い(積極的に拾い上げる). 行政との連携
 - 意見を否定しない. 上部団体・行政への提案(地域全体の意見)
 - 鹿折まちづくりサロンの形成:当事者意識
- 石巻市のぞみ野
 - のぞみ野+あゆみ野:集会所, 避難場所の共用
 - 話し合う土台としての:集会所運営委員会(集会所利用を共通利害に)
 - 自己負担性(補助金)×
 - 子ども会, 盆踊り, 公園管理:楽しい+困り感から
- 名取市閑上
 - 被災者+非被災者(お茶会に参加してくれる)
 - みんなが情報を共有する:信頼関係, 回覧板×→全戸配布(班長)
 - 役員会だけにしない:班長さんも(毎回参加)

持続可能にしていくための工夫

- 気仙沼市鹿折
 - まちづくり提言書を参加者全員でまとめる
 - 言うだけでない, 自分達でもやる
 - 円卓会議(市職員とのざっくばらんな話し合い)
 - 中継ぎとしてのまち協(専任の事務局員+拠点+活動予算)
- 石巻市のぞみ野
 - 長くつづけていくために:複数人が会議に関われるように
 - 町内会長:議決権をもたせない(提案・発言)
 - 会議の段階から, 市・NPO(楽しい)・社協も
 - カーシェア, にじいろくれよん
 - さらに隣接する地域との連携
 - お互いがちがう, ということを理解する5年
 - 各テーマ(専門性が高い)の声をフィルタにかけてくれる
- 名取市閑上
 - 情報の共有:全戸配布+排除の論理の排除
 - 仮設時代の支援者のちから
 - 楽しいパワー(新しい人も), 女性パワー
 - まちづくりに終わりはない

一定の安全の中での防災活動？

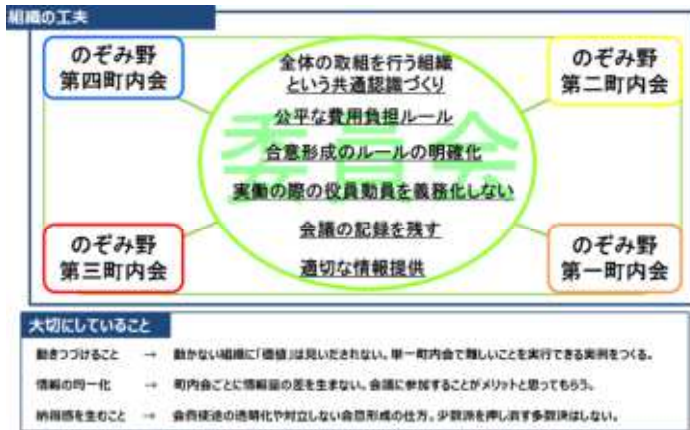
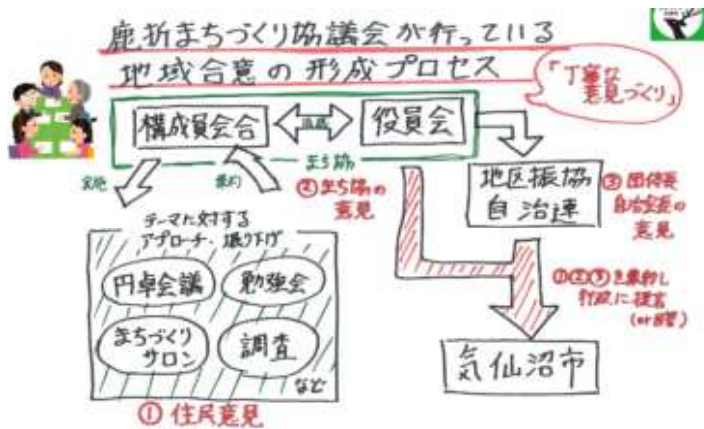
- 気仙沼市鹿折
 - 防災は「困りごと」の一つ
- 石巻市のぞみ野
 - 新しい地域だからこそ，地域・地形を知らない
- 名取市閑上
 - 被災したからこそその不安，その解消

見えたこと
持続可能なまちづくりをなすには

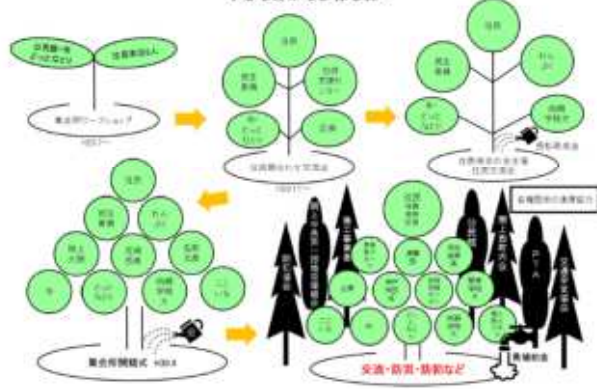
連携の筋を通すもの： 丁寧なコミュニケーション

(情報収集・共通認識・立案・合意形成のノウハウ)

まち協，集会所運営委，町内会であっても
高台・内陸移転，かさあげ現地再建であっても
旧住民，旧住民＋旧住民，旧住民＋新住民であっても
行政も，NPOも，外部も，内部も



関東中央地区のコミュニティ活動
～持続可能な組織づくりの進め方の一事例～
小さな芽から多様な森へ



- 気仙沼市鹿折：クチだけでないモデル**
 - 丁寧な意見集約
 - 勉強会＋サロン＋調査＋円卓会議
 - 行政への窓口一元化
 - とにかく一緒にやってみる
- 石巻市のぞみ野：情報・負担格差是正モデル**
 - 町内会ごとの情報格差を生まない
 - 役員ありきでない（動員しない）
 - 複数関連団体巻き込み（専門駅情報収集）での意見出し
 - 第3の応えをみつける方法
- 名取市閑上：ステージ適応・拡大型モデル**
 - 全戸配布（非回覧板型）
 - 施設＋予算＋人をじょじょに拡大
- 共通：住民だけでない，中間支援，行政，NPO，学生，ボランティア**

まちづくり分野の総括

「持続可能な防災まちづくり」

- 課題・ニーズ・やりたい・やれることは地域によって、状況・資源によって様々
- 対応・解決のノウハウもばらばら
- 持続可能なまちづくりをなすには、丁寧なコミュニケーション(情報収集・共通認識・立案・合意形成のノウハウ)
そのノウハウは報告書から！

ありがとうございました！

みやき復興
官民連携
フォーラム

東日本大震災10年目の今、
復興をきっかけに生まれた
連携の姿とその未来像を考える

主催
「いい東北」官民連携推進協議会

2020年11月18日
14:00~17:25

みせんたいメディアテーク&オンライン

